

みなみしまばらし 議会だより

No.50
平成30年11月14日発行



主な内容

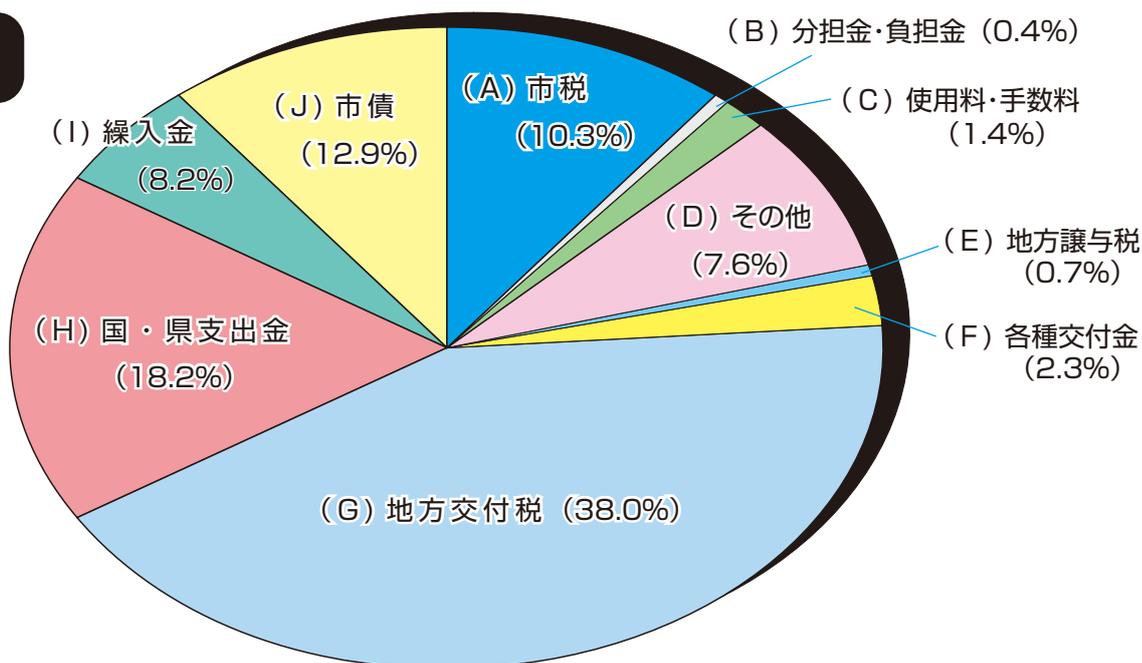
- 平成29年度一般会計決算P2~P3
- 平成29年度特別会計決算P4
- 平成30年度一般会計・特別会計補正予算P5
- 一般質問に13人が登壇「市政を問う」P6~P12
- 委員会活動P13~P16
- その他P17~P20

9月定例会（9月20日開会～10月17日閉会）において、10月3日、4日、5日の3日間、決算審査特別委員会を開催し29年度一般会計決算について審議を行いました。

万 5 千円 (前年度比 5.2%増)
 万 7 千円 (前年度比 6.7%増)
 万 8 千円 (前年度比 15.9%減)
 万円 (前年度比 14.3%減)



歳入



の家庭の家計簿に例えると……こんな感じです。

〈歳入〉

一般会計決算 (単位:千円)	
(A)市 税	3,680,768
(B)分担金・負担金	152,723
(C)使用料・手数料	499,218
(D)そ の 他	2,695,486
(E)地方譲与税	243,572
(F)各種交付金	866,187
(G)地方交付税	13,610,017
(H)国・県支出金	6,509,823
(I)繰 入 金	2,928,031
(J)市 債	4,613,700
合 計	35,799,525

〈収入〉

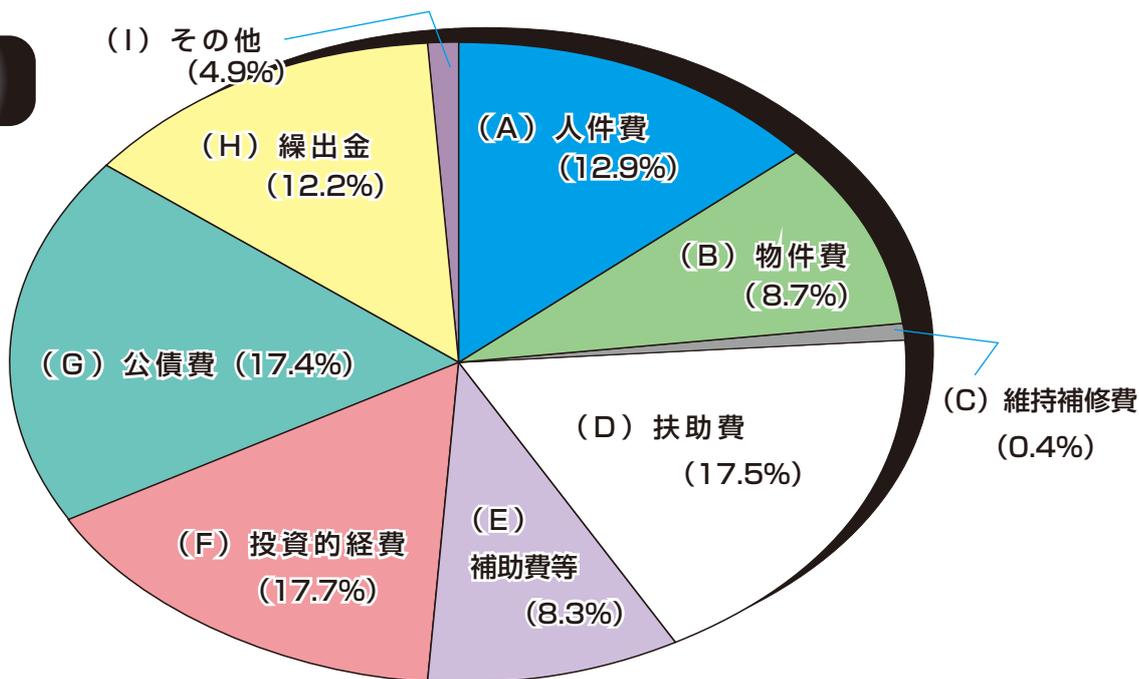
家計簿に例えた場合 (単位:円)	
基 本 給	368,000
各 種 手 当	335,000
親からの収入等	2,123,000
預金取り崩し	293,000
銀行からの借金	461,000
合 計	3,580,000

平成29年度

一般会計歳入歳出決算

歳入総額：357億9,952
 歳出総額：339億5,046
 歳入歳出差引額：18億4,905
 実質収支額：16億738

歳出



南島原市の一般会計決算を、年収 358 万円

〈歳出〉

一般会計決算 (単位:千円)	
(A) 人件費	4,363,190
(B) 物件費	2,974,309
(C) 維持補修費	128,450
(D) 扶助費	5,952,060
(E) 補助費等	2,805,147
(F) 投資的経費	6,010,246
(G) 公債費	5,912,380
(H) 繰出金	4,140,606
(I) その他	1,664,079
合計	33,950,467

〈支出〉

家計簿に例えた場合 (単位:円)	
食費・被服費	436,000
光熱費	297,000
車等の修理費	13,000
医療費	595,000
学費・各種会費	281,000
家の修繕費等	601,000
ローンの返済	591,000
子どもへの仕送り	414,000
その他	167,000
合計	3,395,000

平成29年度特別会計決算 **認定**

国民健康保険事業

区 分	29 年 度 末	前 年 度 比
南島原市総世帯数	18,953 世帯	△29 世帯
南島原市総人口	46,566 人	△948 人
国 保 世 帯 数	8,880 世帯	△301 世帯
加 入 世 帯 率	46.9%	△1.6%
退職者等加入者	179 人	△173 人
一般若人加入者	17,102 人	△670 人
国保人口合計	17,281 人	△843 人
国保加入率	37.1%	△1.0%

歳入総額
106億915万9千円

歳出総額
100億3,620万9千円

実質収支額
5億7,295万円



《概 要》

来年度から県が事業主体となるが、引き続き高齢化や医療費の増嵩が予測され、中長期的な健全財政を目指すため、税の収納対策や、特定健診事業の充実強化を図るなどの財政健全化に努める事が重要である。

簡易水道事業

歳入総額
21億7,445万6千円

歳出総額
21億1,620万2千円

実質収支額
1,556万5千円

簡易水道統合整備事業は平成29年度が最終年度となるため、事業完了に向け施設の整備及び送配水管、連絡管の整備を行った。

給水件数は14,524件、給水人口は33,250人と、区域内人口の減少に伴い給水人口も年々減少しており、老朽化した施設の更新をはかり有収率の向上に努めることが必要である。

下水道事業

歳入総額
6億4,546万6千円

歳出総額
6億779万7千円

実質収支額
8千円

各地区の加入率は口之津処理区1,427戸61%、南有馬町処理区389戸50%と僅かずつ増加しているが、農業集落排水の西有家町慈恩寺・見岳処理区は142戸56%と横ばいであった。

今後もさらに加入率の向上に努めることが必要である。

後期高齢者医療事業

歳入総額
6億4,164万4千円

歳出総額
6億4,079万4千円

実質収支額
85万円

被保険者は9,711人で、前年度より76人減少し、総人口の20.9%を占めている。

保険料の収納率は、99.6%、医療費は、一人当たり前年度より1.8%増加しており、今後も制度維持のため保健事業や広報活動を充実させる必要がある。

平成30年度

一般会計補正予算 (第2号)

補正額 31億 1,383万 2万円の増額

可決

今回の補正は、ブロック塀改修など、小中学校の施設整備・改修に要する経費、6月・7月の豪雨に伴う農業施設、農地、市道及び河川の災害復旧に要する経費、旧有馬商業高校解体など、社会体育施設の整備に要する経費、原城跡法面保存整備事業に要する経費、後年度の公債費負担軽減を図るための繰上償還に要する経費などが増額補正された。

小中学校ブロック塀対策に要する経費

5,595万円増額



農業施設等災害復旧に要する経費

2億 2,300万円増額



公共土木施設災害復旧に要する経費

1億 2,700万円増額



原城跡法面保存整備事業に要する経費

2,153万 5千円増額



旧有馬商業高校解体に要する経費

1億 5,751万 7千円増額



一般会計の繰上償還に要する経費

24億 3,610万円増額



平成30年度

特別会計補正予算

後期高齢者医療 (第1号)

136万 4千円増額

可決

世界遺産に対する職員の認識は？

市長／意味合いを含めて対応する。



松永忠次 議員

南島原市地域商社について

議員 南島原市地域商社とは。

市長 発電事業者から電力を安く購入し、市が管理する公共施設へ供給することで利益を上げ、地域に還元させていくというものである。

議員 誰の案なのか。

副市長 西海市が先発隊でやっており、親和銀行が持ちかけてこれら、精査の結果、採算性が十分であると検討し、今回実施する予定である。

議員 西海市の状況は。



旧長野小学校

企画振興部長

新商品の開発、観光やグルメ、移住などの生活情報を集めて日本全国へ発信する事業を展開し、順調に事業を拡充され、新規雇用も生み出している。

議員 電力事業者はどこか。

副市長 パシフィックパワー株式会社で、地域電力を数多く手がけている会社である。

議員 その他の企業はどこか。

企画振興部長 IT企業の株式会社びびねっとと、株式会社ハタプロの2社である。

議員 利益の積算はなされているのか。

企画振興部長 地域商社を通じると1,000万ぐ

らい出てくる推計である。

議員 事務所の拠点は。

市長 旧長野小学校の1階に置く考えである。

議員 長野の地域の皆さんにまず説明をしているのか。地域住民に説明する義務があると思うが。

企画振興部長 地域商社の設立の日程がやっと決定し、今後、地域に説明をしたいと考えている。

原城世界遺産の登録記念について

議員 市民全体で世界遺産に対する盛り上がりが少ない不足しているのでは。

市長 有馬キリシタン遺産記念館を、世界遺産登録を記念して市民の皆さんに無料で開放した。世界遺産にまつわる知識を得ていただく必要がある。

議員 市民に知らしめる前に職員に知らしめるべきであるのでは。

教育長 文化財行政の一つなので、しっかりと厳しい気持ちを持って対応していきたい。

その他の質問

・廃校の活用方法について

島鉄跡の草刈りの状況を

総務部長／1,000万円の予算があるが後300万円追加して、全線を一回草を刈る。



高木和恵 議員

市長の公約について

議員 保育料の無償化はいつからか。

市長 国において来年の10月から3才〜5才児までの保育料の無償化が予定されている。国の動向を注視しながら、2子目の無償化に加えて国の制度の対象とならない住民の無償化にしている。

議員 市長自身の選挙公約なのでに検討された結果と考える。前定例

島鉄跡の活用について

議員 市長は議会の意見も聞かずにタダだから「もらったつたらどげんかな」と言っている。島鉄が草を刈らない！市民が困っている。市で草を刈る考えもあって島鉄の申し出を受けたのではないのか。「判断が甘かったのか」と言って返すことができるのか。

市長 3月末にもう譲渡が済んでいる。島鉄が廃線になったまま島鉄の土地だからと言って島鉄に管理を要請しても恐らくできないだろうとは正直私も思った。そういう中で市がどうするべきかと考えて譲渡を受け、活用

していききたいというのが私の最初の思いである。**議員** 高齢化社会であり住民の足として車を走らせることも考えに入れてほしい。市民の声です。

◎南島原市採用試験結果の状況

区分	平成29年度			平成28年度			平成27年度			平成26年度			平成25年度		
	受験者	一次合格	二次合格												
受験者数	48	22	12	44	18	12	43	23	7	50	21	7	57	27	7
男	33	16	8	24	11	6	27	14	5	32	16	6	35	15	4
女	15	6	4	20	7	6	16	9	2	18	5	1	22	12	3

天ヶ瀬・八重坂にも反対者がいることの認識は

市長／認識している。



下田 利春 議員

防災対策について

議員 新田に建設中の太陽光の雨水排水経路の下流においては雨水災害が多発している。被害を受けられた方を中心に雲仙線への雨水流入反対（自然流体へ戻す）の署名を提出している。個人的に災害被害があったときの補償は誰がするのか。

市長 生活環境と自然環境の保全、本事業に起因する災害等の発生を防止を目的とした協定を結んでいる。

議員 被害があっても業者が起因と認める訳がない。

い。反対者や地元住民の意見を聞き、万全の対策を立て、住民が納得する方法で進めるべき。

地形に沿った流体に戻してこれとの反対者の方と話し合いや説明をしているのか。

建設部長 建設部管理課の職員が出向き、反対の趣旨の確認を行った経緯はある。

議員 一回しか面会しないで反対者に対応したと言えるのか。業者の言うとおりにすれば嘆願はどうでも良いのか。

また、天ヶ瀬・八重坂にも反対者がいると、市長は認識しているのか。

市長 反対の署名をいただいている、当然そういう方々がいらっしゃる事は認識をしている。

議員 認識しているのに



昨年嵩上げしなければ大変なことになっていた

なぜ無視して進めるのか。市民の皆さんも良く判ら

れたと思う。市民が反対しても今の執行部は受け付けない証明である。

次に、議会だよりや業者の説明でも水害は起きない。環境省、国土交通省の基準もクリアとなっている、何が基準か。

副市長 国立公園法に基づいた開発許可が必要で所管は環境省であり、市は許可権者でもなく、強制権もない。

議員 環境省の許可は公園法の許可であり、新田は国道57号線に泥流が流れなければ許可、下流域を含めた許可ではない。この件は次回も質問する。その他の質問
・以前市が係わった事実。
・分筆については質問しました。

新学校給食センター建設については白紙に戻し、再スタートすべきである

市長／議員の思いを受け止めておく。



小林 知誠 議員

新学校給食センター建設について

議員 建設費が12億円から20億円になった理由について伺いたい。

教育次長 総合的に計算して約21億円、上昇率を乗じて21億円になった。

議員 計算して21億円になった元の金額は何か。

教育次長 平成28年に提示した11億円である。

議員 平成28年の建設費概算11億円が3割上がった。平成29年の建設費も20億円にはならない。

議員 平成29年の林田議員への答弁には、電気機械費8億円が入っている。しかし、平成28年の資料には心臓部の電気機械が入っていない。教育委員会が、虚偽の資料で、議会・市民を愚弄するものだ。これまで一連の市教委の態度を市長は許せるか。

市長 建設費が倍近くになっている。これは精査が足りなかった。陳謝をしたい。

議員 論点をすり替えるな。平成29年の費用には電気機械費8億円が入っている。平成28年の費用からは電気機械費8億円が省いてある。精査の結果値上がりしたのではない。

教育次長 平成28年の工事請負費6億8,723万円の中には、電気設備工事費等も入っている。

議員 工事請負費6億8,000万円の中に電気工事費8億円が入っているなどというそんなでたら

やすらぎ苑のトイレ設置について

めは誰も信用しない。市教委は、このようにして議会を愚弄して、了解を得た。白紙に戻し、再スタートすべきである。

市長 小林議員の思いを受け止めておく。

議員 葬儀が2つ重なった場合、大変混雑して困る状況である。また、多目的トイレがない。増築する必要があると考えるが。

市長 検討を指示している。



やすらぎ苑

歩行者道路、自転車道 路として全線整備する 考えなのか

市長／状況によっては修正もある。



田中次廣 議員

島原鉄道跡地の歩行者道路、自転車道路としての整備について

議員 島鉄跡地を整備し健康増進や本市の魅力ある所を自転車を利用してめぐるがあるとあが全体的な計画は。

市長 島鉄跡地の歩行者・自転車道路への整備は、通学や買物など市民の暮らしを支える道路、健康増進に役立つ道路、移動を楽しみながら南島原の魅力をめぐる道路としての役割に加え、整備効果を高めるため、原城跡の

世界遺産登録や口ノ津港の再整備を契機とした、南島原の新たな魅力を発信し、自転車ネットワークを形成することで、南島原発の旅行スタイルやブランドを確立したい。

議員 完成に何年かかるのか。それに要する金額は。

企画振興部長 10年計画で、総額21億円を見込んでいます。

加津佐前浜周辺整備について

議員 加津佐前浜周辺整備について今後の計画は。

市長 完成は別にして、任期のうちに取り組んでいく考えである。

スポーツ振興と地域活性化について

議員 アクアスロン大会は、28年度の第2回大会後、開催されていないが。

教育次長 アクアスロンは海での水泳のため、天候に左右されたり、潮の満潮等を考慮しなければならず、日程の固定化が

原城温泉真砂の管理について

議員 職場環境改善について、前回質問したが、

副市長 努力はしているが、行き渡らない部分もあると思う。

今後ともできる限りのことはやっていきたい。



原城温泉 真砂

ボランティアをして くださる方たち に対して保険を掛 けているのか

市長／今後は保険を掛けるよう指導していく。



金子憲太郎 議員

教職員の長時間勤務について

議員 昨年、長時間労働の改善策を出されたが、

教育長 本市における長時間労働の主な原因として、部活動の指導があげられていたため、週2回は休養日を設定するとともに、毎月第3日曜日を家庭の日とし部活動を行わない。また、第2水曜日は定時退勤日に設定するよう指導している。

さらに、会議の回数や時間を減らすなど取り組む

んだ結果、長時間労働は改善傾向にあるが、まだ多い状況なので引き続き取り組んでいく。

議員 タイムカードの導入は考えていないのか。

教育長 現在、本市では、出勤と退勤時刻を自分のパソコンに入力し、管理職員がネットワークで勤務状況を把握しているが、タイムカードなども検討してみる。



保育園で遊ぶ子供達

子育て支援について

議員 子育て支援新制度で、国は認定こども園の普及を進めているが、本市の状況は。

市長 市内32施設のうち7施設が認定を受けている。

議員 新制度ではどのよ

うな点が変わったのか。

福祉保健部長 支援の量の充実と質の向上を目指し、必要とする全ての家庭が利用できる支援を目指すとなっている。

議員 本市の総合計画でも子育て支援の充実や認定こども園の必要性が書かれており、もっと推進すべきでは。

福祉保健部長 協議はしているが推進はあまりできていない。

議員 3年間で7園しか認定を受けていないという事は、民間には負担が大きすぎるという事だと思ふ。さらに要保護児童問題などは自治体が責任もって行うようになっているので、民間にあまり負担を掛けないよう、セーフティーネットという意味でも公立施設の役割が大切になると思うがどう考えるか。

福祉保健部長 北有馬地区には私立の保育園や幼稚園がないため、公立の果たす役割はあると考えている。

インターンシップ（職業体験）について

市長／金額の増も含めて検討していきたい。



井上末喜 議員

インターンシップ 事業について

議員 職業体験について対象が大学・短大・大学院で5日以上活動を実施できる学生。補助・旅費が2分の1以内、上限1万円、宿泊費1泊3千円、1回当たり上限3万円になっているが間違いないか。

市長 間違いない。

議員 このままの補助金で来る人がいるのか不安に感じるが、改正の余地はないのか。

市長 本市の魅力を知ってもらい移住、又は定住

を促そうというもので、現時点で1名の利用があった。

議員 この数字では少ないと思う。なるべく早く見直すべきだと思うが。

市長 金額の増額も含めて検討していきたい。

消防施設について

議員 地震や災害に対し、口之津地区第5分団の消防詰所での待機が不安であると消防団員が言っているが、把握しているのか。

総務部長 そのような報告を受けておらず把握できていなかった。消防団の意見の集約を確実に行うように総務課に指示をした。早速調査をしたところ、土間と基礎部分に複数の亀裂を担当職員が確認したところである。

議員 一昨年、一般質問で口之津地区5分団詰所が老朽化して危ない、と指摘したが対応されたのか。

総務部長 老朽化の進んだ箇所では、消防団からの施設の故障や不具合などを指摘されている所もあり、消防団活動の拠点

として十分な機能を確保するため、施設の状況によつては建て替えも検討が必要である。築年数や個別の状況を踏まえ、緊急性の高いものについては早急に建て替え改修を進めていきたい。



口之津地区第5分団消防詰所

補助金について

議員 少年少女の、スポーツにおける全国大会への補助金制度はどうなっているのか。

教育次長 交通費・宿泊費等の2分の1を補助している。

議員 補助金が少ないため、辞退する人もいる。南島原市の名前を売るためにも、もう一押しお願いしたい。

市長 市として後押しできる部分もあるので検討していきたい。

ロタウイルスワクチン接種費用の公費助成について

市長／来年度からの実施に向け進めている。



中村久幸 議員

新学校給食センターについて

議員 当初の予算約11億円から今回、約21億円に倍増したことについて、予算の資料を出して説明していただきたい。

教育次長 資料はないが、工事費が倍増したのは、

当初参考にした3市の落札額を、安易に設計額と思いついで計算し、約11億円としていたが、今回、面積が2割ほど広くなったため2割増し。塩害対策で1割増し。諸経費の高騰で3割増し。落札額を設計額と誤っていたこ

とで約1割増し、それらを見込んで約21億円程度とした。

議員 これだけの金額の倍増に対して、もっと議会への説明と、口頭で何割増しとか全体的な話だけでなく、具体的な見直しが必要だと思うので、项目的な資料を出していただきたい。

市長にお尋ねしたい。当初の予算書にしても、改修費と対比するため、この時に議会に、改修か新給食センターを造るのか、予算が同じようにかかるという説明で、それで議会が通りましたという話になっている。

これが21億円に倍増したわけだから、本当は、振り出しに戻して議会にもう一回かけるべきだと思うが、お考えを。

市長 改修費と対比、それについては、そういう意図があったとは考えていないが、結果的に、皆さん方から指摘をされていく中で、電気関係の項目が入っていなかったという事は、皆様方に対する説明としては本当に、

ただ不十分というだけでなく、申し訳なかったと思っている。

立ち止まってという話もあるが、必要な変更はしなければならぬし、皆さんの意見もまた大事にしながら、私は今後もこの計画に沿って進めていきたいと思っている。



新学校給食センター建設予定地（旧龍石小学校跡地）

ロタウイルスワクチンの公費助成について

議員 来年度からの実施ということ。助成額は1万2,000円の予算で。

市長 現在、制度構築に向けて準備を進めている。

大型事業の進め方が非常に悪い

市長／意見は真摯に受け止める。



隈部 和久 議員

新給食センター建設について

議員 前回、災害や食中毒等で、給食が提供できない場合は、代替食で対応するという答弁だったが、作業部会で協議されたのか。

教育次長 その件についての議論はなされていない。

議員 現在の6センターで配送している時間と同様にするには、かなり早く作り終える必要があるのではないのか。

教育次長 作業部会の中で、関係者が協議している。

議員 建物が吹き抜け構造の設計となっているが、作業部会では、必要性があるのかとの意見も出たと聞くが。

教育次長 プロポーザルの委員から、食育についての意見があり、このような設計となった。

議員 食育は当然必要だが、この施設をどのよう

教育次長 児童・生徒に対し自分達の給食が、どのように作っていたか、どうしているかを見学させる。

議員 市内各学校から授業時間を割いて見学される頻度は、年に一回程度であろう。そのために、調理現場から、衛生面、清掃面で大きな懸念が出ている吹き抜けを、どうしても推進するのか。

教育次長 新学校給食衛生管理基準に則り管理できるような、大型の空調機器を設置し、建物の内外の圧力を調整するので換気等の問題は無い。

議員 答弁が、業者の説明そのままである。吹き抜け構造の他センターで働いた経験者や、調理現場の声を最優先に取り入れるべきである。

市長 意見や提言は真摯に受けとめ、私としては

この建設計画を進めていきたい。

議員 給食会を始め、誰も建設に反対していないが、事業の進め方が良くない。

合併特例債の期限が、さらに5年延長された事を奇貨として、その他の有馬商跡地活用や、世界遺産関連事業等の大型建設計画は、本当に本市の将来のためになるのか、負荷とならないか、さらなる議論が必要である。その他の質問
・堂崎埋立地活用について



完成まであと2年余りの堂崎埋立地



給食センターの調理の様子

天正遣欧少年使節の銅像の設置を

市長／有馬のセミナリヨがあった本市にも是非欲しい。



黒岩 英雄 議員

セミナリヨ一期生の銅像の設置を

議員 世界遺産関係で、県は当初、日野江城跡も含め伝播、普及、繁栄の時期も対象としていたが、イコモスの方針で繁栄時代の日野江城跡は除外されたが、約450年前、



有馬のセミナリヨ跡石碑

有馬晴信の時代に日野江城下に、日本で初めての西洋文化が取り入れられた有馬セミナリヨが設置され、天正遣欧使節4少年がヨーロッパ文化を持ち帰り、日野江城の繁栄になったことを記念して、銅像を設置する考えはないのか。

市長 平成24年度に、口之津開港450年記念事業として、中学生のローマ派遣を始めている。

教育次長 1580年、キリシタン大名有馬晴信が日野江城城下に、日本初のセミナリヨを開校された。第1期生の伊藤マンショ、千々石ミゲル、原マルティノ、中浦ジュリアンの4人が、天正遣欧使節として有馬晴信、大村純忠、大友宗麟らの名代としてローマへ派遣され帰国した。



天正遣欧少年使節の銅像（大村市）

市長 長崎空港から降りたら途中、天正遣欧少年使節の銅像があるが、本市にも是非、正直言って欲しいなと思っている。

市議会議場を南有馬庁舎へ

議員 市民が気軽に立ち寄れる市役所にするため、現在の建設部、企画振興部、市民生活部などの間切り壁を無くし、3庁舎の無駄をはぶき有効活用したら増築の必要がないと思われるが。

市長 新たな機構組織を決めた上で、各部署を3庁舎で市民の皆さんの利便性の向上と、業務の効率化を念頭に置いて検討しているところである。

議員 南有馬庁舎3階へ市議会議場を移動すれば、事業系の建設部、水道部、農林水産部等を有馬庁舎に集中させることで、効率的業務ができ市民にとっても一か所済む。議員に対しても改造、改修増築等などの必要な資料の提出を早めをお願いしたい。

総務部長 市長とも検討させていただいて、早めの資料の提出をしていきたいと思っている。

海底耕耘事業 の継続は

市長／国へ県と一緒に要望する。



吉田幸一郎 議員

性化などを導き、地域振興につなげていきたいと考えている。

議員 2020年は東京オリンピックがあり、来年は、熊本、福岡でラグビーワールドカップが開催される。また、島原ではトンガが合宿をする。世界遺産や世界ジオパークがありチャンスだと思うが、南島原市に来てもらうような仕掛けPRは、考えられているのか。

市長 世界に誇れる観光素材がある。関係市と協力しながらやって行く。

議員 2020年東京オリンピックの聖火リレーのコースが決定しつつあるようだが、本市は手を挙げているのか。

教育次長 県内の走行ルートは、聖火リレー長崎県実行委員会が組織されており、聖火リレー走行ルートの候補として県に提案をしている。

市長 原城を眺めるコースで、是非、聖火リレーに参加したい。

市長 それぞれの事業が組み合わさることで相乗効果を生み出し、交流人口の拡大、地域経済の活

状と今後は。

農林水産部長 平成20年度～24年度と26年度～30年度で、延べ235平方キロメートルの海底耕耘を行って来ている。今年度で終了するが、県も効果が認められるということで、今後も行いたいと考えている。国の承認が必要なので31年度は、効果を検証する期間となり、32年度から5カ年間継続出来るよう、県と一緒に進んでいく。

議員 漁業者から継続の要望が高い。是非、取り組んでいただきたい。

その他の質問
・有商跡地活用について



海底耕耘の様子

鮎帰りの滝の 閉鎖解除を

市長／現在、所有者と協議をしている。



中村哲康 議員

鮎帰りの滝について

議員 閉鎖解除と併せて周辺道路の整備についても検討してもらいたい。

建設部長 駐車場がないので道路にとめてあり、幅員が狭く離合もなかなかできないため、非常に困っていると聞いている。関係者の方と一緒に市道の整備に向けて進めていきたい。

女性や高齢者が活躍できる環境の整備について

議員 市長の所信表明の中に、女性や高齢者の資格取得につながる研修会

や講座の実施とあるが、具体的にどのような講座を実施したのか。

市長 まず、女性が活躍できる環境の整備については、本年3月に策定した、第3次男女共同参画計画に基づき各種事業を実施している。

今年度は、仕事と生活の調和、いわゆるワーク・ライフ・バランスの考え方の普及を目的とした講座を3回実施するようにしている。そのほかに長崎県などが開催する講座などの情報を広報紙、またホームページで発信している。

福祉保健部長 高齢者の資格取得につながる研修会や講座については、シルバー人材センターにおいて、会員の技術水準を高め、就労の機会を増やす取り組みが行われており、市も国と連携して支援している。

議員 障害者にも、こういう機会を与えてもらいたい。

市長 障害者、あるいは健常者ともに考え方には同じだと思う。

建設業の施工プロセスについて

議員 施工プロセスチェックを受けることが負担になり、設計金額の500万円以上の工事に手を出せない業者が多いため、金額を引き上げることができないか。

市長 議員のそのような意見、あるいはご提案、そのような声もあるということを、今後の検討の際の参考にします。

議員 併せて提出する書類が多いため、簡素化・削減してもらいたい。

市長 先ほど言ったことを含めて受け止めておく。



鮎帰りの滝閉鎖状況

総務委員長報告

議案1件を原案可決

(下田利春委員長)

【議案第43号】平成30年度南島原市一般会計補正予算(第2号)

(総務部関係)

質疑 本会議において、繰上償還の質疑の中で、自転車操業になるのでは、との表現があったが、実際そうなのか。

答弁 そういう認識は持っていない。逆に、若しくなる前に繰上償還を行い、今年少し余分に返して、来年返す分を減らし、来年増える分をカバーできるとの考えである。

質疑 自転車操業ということではなく、市当局は計画の中の財政運営でやっているのと、認識しているのか。

答弁 そういうふうに考えている。本会議でそこまで答弁をしなかったのは、申し訳なかったと思う。

質疑 長崎県は黒字で正常だとの報道があったが、南島原市が突出して

いたという16億円についての説明を。

答弁 新聞記事の数字であるが、これは剰余金である。29年度決算の余った金で、今回繰上償還を8億、繰り越しに8億使ったという部分である。

質疑 島鉄跡地の草刈り代についての説明を。

答弁 1,000万円は当初予算で認めてある。その中の300万円を使って、まず、一回草を切るということである。



現在の島鉄跡地

(企画振興部関係)

質疑 原城が世界遺産になった重要性はわかるが、観光利用に一生懸命に力を入れている。史跡・遺跡は大事だが、観光に利用して活性化に役立てようとしていると捉えてよいのか。

答弁 世界遺産登録になり、観光がメインというわけではなく、歴史的価値を後世に伝え、大事に守っていく中で、地域おこしに役立てていきたい。

質疑 地域おこしとは具体的にどういうことか。

答弁 世界遺産になったことで、来訪者が増える。



上空から見た原城跡

る。原城を守りながら、その周辺の対応を、来訪者にいかに満足していただけるか、できるだけのことをやっていく。

質疑 3斤舎で、WiFiのサービスをするとのことだが、どのようなサービスをするのか。

答弁 基本的に市役所で使用する場合、ネット規制をかけているが、今の市のネットワークは、別の所と契約して無料で開放するので、ネット制限はかけていないが、使いつばなしにならないように、タイマーで、20分切れるようにする。

質疑 原城温泉真砂の予算の総額は。

答弁 3,100万円である。

質疑 修理や備品購入費については、100万円以下は真砂自身で、100万円以上は市がする。利益が出たら市へ還元しているが、市がそれをもたらさないで、真砂のことは真砂の中で対応するという考えはないのか。

答弁 それも一つの考え方だと思うが、指定管

理先は、市が100%出資の原城振興公社である。利益をそのまま残して改修等に対応してもらうとの事だが、指定管理は5年間になっており、5年間が切れて違うところに指定管理が移る問題もあり、取り扱いについては、まだ今後検討していかなければならない。



原城温泉 真砂

質疑 原城跡の観光ガイドを利用するときの方法は。

答弁 土曜・日曜は、ガイドが原城本丸に待機されており、ワンコインでその場でガイドを受けられる。平日は、ひまわり観光協会が受け付けて

いる。

質疑 今回、法面の崩落発生調査を行うために、一般財源から出されているが、法面の崩落が起きて修理が必要な場合、国から何かの予算処置はないのか。全部一般財源でやるのか。

答弁 法面が長い範囲にわたって崩落している。今回は、調査に対しては追加財源で調査させていただき、後の法面の整備の復旧工事については、国の補助事業が50%、県が20%、残りの30%を過疎債や合併特例債を活用し、一般財源からの支出が少なくなるような形の手法でやっていく。



原城跡法面崩落現場

文教厚生委員長報告

議案3件を原案可決、認定2件を認定

(田中次廣委員長)

【議案第43号】平成30年度南島原市一般会計補正予算(第2号)

ないブロック塀もまだあるのか。

【答弁】 建築基準法に違反の可能性がある分だけ

【質疑】 小学校、中学校の施設整備・改修事業、これは、ブロック塀改修工事だが、これに該当し

が残っているが、建築が終わった後に改修を考えている。



有家小学校

(市民生活部関係)

【質疑】 花いっぱい運動は、原城跡に設置するのか。

【答弁】 世界遺産登録に

あたり、新規の取り組みとして、国道上に去年出来たトイレ周辺に老人会を中心の花苗を植栽して、世話をしていたたく予定にしている。



原城跡駐車場トイレ

【議案第44号】平成30年度南島原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

【質疑】 後期高齢者の場合は、保険料は広域連合

に納付するが、その保険料は後期高齢者の医療費に關係なく率が決まっているのか。

【答弁】 納付金は、医療

費分の負担金と保険料と事務費負担金も含めて、広域連合に全て納め、医療費分は、広域連合で支払いをする仕組みになっている。



【認定第2号】平成29年度南島原市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

【質疑】 今まで一般会計

から繰り入れてきたが、県に移管した時に一般会計から入れなくても良いようなシステムになるのか。

【答弁】 本来は、国保会

計は独立なので、繰り入れをしないで、国保税を上げるといのが国のスタンスである。

国保税を引き上げたら、住民の負担が大きくなるので、医療費をなるべく下げて、一人当たりの保険料の額が下がれば、納付金の額が下がるので、少しずつ調整をしていくことになると思う。



【認定第5号】平成29年度南島原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

【質疑】 広域圏組合など

の負担金があるが、この率と根拠を。 【答弁】 広域圏組合の負担金は、島原市と南島原市で電算費用の折半にな

る。後期高齢者医療広域連合事務費負担金は、均等割10%、高齢者人口割50%、人口割が40%となる。保険基盤安定負担金は、県が4分の3、市が4分の1の負担である。



その他の付託案件
【議案第42号】南島原市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について



農林水産・建設委員長報告

議案1件を原案可決、認定3件を認定
(金子憲太郎委員長)

【議案第43号】平成30年度南島原市一般会計補正予算(第2号)

質疑

農業振興費の利子補給については何件ぐらいあるのか。

答弁 9月5日現在、農協に80件の申し込みがあっている。

質疑

せっかく良い事業をしているのだから農協出荷分だけを対象にするのではなく、もっと幅広く周知をするべきではないか。

答弁 馬鈴薯部会やトマト部会での周知と共に、農協には相談会を開催していただいた。

農協外については、今月号の広報で周知している。最終的には12月31日実行まで枠を持っているので、今後も出来る限り周知に努めていく。

質疑 農道の原材料支給は、幅員の狭い所でも



原材料支給による工事

以上、2戸以上と定めており、今のところはこれを基準とさせていただきます。

質疑

機器具借上料と整備材料の部分と分けて説明があったが、原材料支給には機借上料も入るのではないかと。

答弁 制度上は同じ取扱いだが、支払いの関係で予算上の節が違いため分けて計上している。

【認定第3号】平成29年度南島原市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

質疑

簡易水道は、これまで毎年約8億円の繰入金で運営を行ってきたが、今年度企業会計になり繰入金が無くなると思うが、何か対策を考えているのか。

答弁 今まで不足分を繰入金として一般会計よりいただいていた分は、今年度からは、水道負担金として元利償還金の基準内繰入分と、基準外繰入として人件費相当分を負担していただいている。

質疑

水道料金には影響なくやっていけるといふことか。

答弁 今後、老朽化した管路や施設の更新などで事業費不足になった場合、料金改定の検討が必要になると思われる。

このため、今後10年間の経営状況や、今後の見込みなどの調査と、長期計画の作成を業者に委託しており、料金改定など



配水池

についても今年度中には見えてくると考えている。

【認定第4号】平成29年度南島原市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

質疑

口之津は大体終

わったと答弁を受けていたが、進捗状況はどうなっているのか。
答弁 環境整備についてはほぼ終わっているが、国に要望していた予算が半分しか付かなかったため、舗装工事に積み残しが出てしまい、その分を来年度工事として予定している。



下水道工事の様子

決算審査特別委員長報告

(井上末喜委員長)

認定第1号「平成29年度南島原市一般会計歳入歳出決算の認定について」を認定

10月3日から5日まで

の3日間、議長を除く全議員による決算審査特別委員会では慎重審議を行い、活発な質疑が行われた。

主な質疑

(総務部関係)

質疑 現在地方債に対する利子を、年間のどのくらい収めているのか。

答弁 利子総額は29年度で1億5,300万円である。

質疑 より金利の安いものに借り換えなど、検討はされているのか。

答弁 本市の方針としては、借り換えをしても利息は払わねばならないため、それより繰上償還して将来の利息を減らすということ、29年度も行っている。ただ、将来の利息を、補償金という形で支払わなければならない制度であり、市にとってメリットは少ない。いろいろと状況を見て判

断したい。

質疑 投資的経費が増えていくが、今後まだ増えていく可能性があるのか。

答弁 有幼小学校、給食センター、有馬商業跡地の多目的運動広場の建設を控えており、一時的に増える可能性は高く、その年度には増える覚悟をしなければならぬ。

それを踏まえ、建設事業費などを調査し、財政計画の見直しを作成する必要がある、しかるべき時期に議決をいただくべくご説明したい。

質疑 政府資金の中で利子が一番高いのは何%位か。

答弁 29年度末では一番高いものが1・3%、銀行等の資金は1・02%。銀行等の資金は今回補正予算で繰上償還するため、1%台はなくなる。

質疑 実質収支額が16

億数千円出ているが、単年度収支はどのくらいか。

答弁 繰越金などを除くと、単年度収支ではマイナスであるが、繰上償還をしているため、さらに突っ込んで言えばプラスになる。

質疑 収入未済額があるが、要因は。

答弁 小学校費は、小学校の空調整備事業に係る補助金で、今年度に繰り越している。幼稚園使用料は、授業料の未収である。

(建設部関係)
質疑 住宅使用料が約2千万くらい未収入で、過年度分が多いと思うが、出納閉鎖の5月31日以降の徴収はどのようにしているのか。

答弁 2か月に1回程度、未納者に電話による納付の催告を行っている。それで納付に至らない場合は、3か月以上の滞納者には催告書を文書で送付している。それでも納付に至らない場合は、29年度から、連帯保証人を含めたところで納付指導

を行っている。その成果もあり、連帯保証人の方が全額納付した例もある。それでも納付されない場合は、明け渡し請求をし、退去を促している。

質疑 滞納者の退去裁判は、今現在はないか。

答弁 平成22・23年にあったが、それ以降は裁判には至らず、実質的に退去されているのが現状。

(企画振興部関係)
質疑 そうめん1千wanに近いPR経費が委託されているが、どのような内容か。

答弁 年間を通して業者に委託し、福岡や東京方面を中心にそうめん流しなどのイベントを行っている。その他、新聞広告や、長崎空港の入国エリアの電光掲示板などメディアを使ったPR、そうめんレシポの印刷などを行っている。そうめん流しは、地元の業者も同行し、今年は博多駅で行った。冬にもゆうめんの提供をしている。

れば、PRよりも生産者価格を上げるような対策が必要ではないか。

答弁 10月1日にそうめん振興班も新たに立ち上がり、これまでの業界の課題等の洗い出しを今行っている。ご指摘の点

についても取り組んでいきたい。

その後、反対討論があり、賛成討論はなく、起立採決の結果、賛成多数により、認定第1号は認定することと決定した。



島原手延そうめん

「長崎県の施策に関する要望・提案活動」

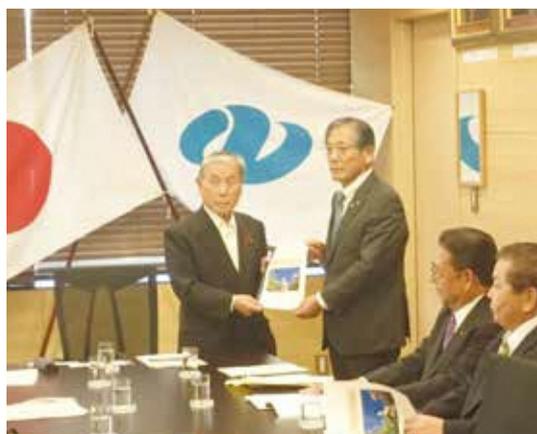
NO	項 目
1	地域高規格道路「島原天草長島連絡道路(深江町～ロノ津港)」の早期事業化について
2	一般国道251号の渋滞緩和及び安全・安心対策について
3	農山漁村地域整備交付金に係る海岸保全施設整備(内地・高潮)事業の予算の確保について
4	島原半島の幹線道路網の整備促進について
5	国指定史跡「日野江城跡」に隣接する大手川の改修について
6	「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」から除外となった構成資産への支援について
7	「世界文化遺産等の構成資産保護に係る財政支援」の拡充について
8	島原手延そうめんの産地振興について
9	畑地帯総合整備事業(担い手育成型)の予算確保について
10	学校施設環境改善交付金について
11	水産業の振興について
12	二級河川の整備について
13	一般国道389号の整備促進について
14	主要地方道及び一般県道の整備促進について
15	島原・天草・長島架橋構想及び九州西岸軸構想の推進について
16	ロノ津港再整備について



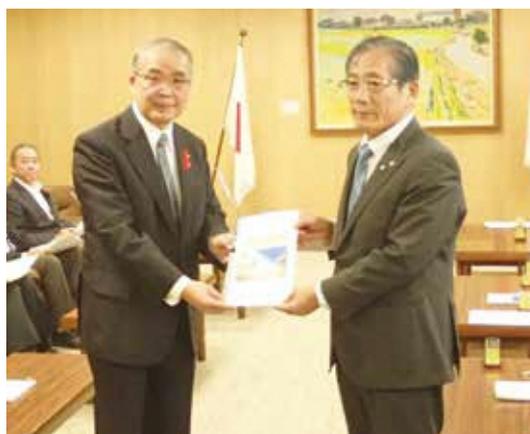
要望・提案活動の様子(長崎県議会議長室)



要望・提案活動の様子(長崎県庁特別応接室)



溝口県議会議長に要望・提案書を渡す松本市長



中村県知事に要望・提案書を渡す松本市長

南島原市は、平成21年度から県に対する要望・提案活動を実施しています。本年度も去る10月15日、松本市長、林田議長をはじめ総勢19名で長崎県庁を訪れ、市長、議長連名による要望・提案書を県知事・県議会議長に提出し、各種施策や課題について県の支援をお願いしました。ここでは、その要望項目をご紹介します。

平成30年第3回南島原市議会定例会 議決一覧

議案番号	件名	議決年月日	議決の結果
報告第11号	専決処分の報告について (損害賠償の額の決定について)	平成30年 9月27日	受理
報告第12号	専決処分の報告について (損害賠償の額の決定について)	平成30年 9月27日	受理
報告第13号	平成29年度南島原市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	平成30年 9月27日	受理
報告第14号	株式会社原城振興公社の経営状況に関する書類の提出について	平成30年 9月27日	受理
議案第42号	南島原市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	平成30年 10月17日	原案決可
議案第43号	平成30年度南島原市一般会計補正予算(第2号)	平成30年 10月17日	原案決可
議案第44号	平成30年度南島原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	平成30年 10月17日	原案決可
認定第1号	平成29年度南島原市一般会計歳入歳出決算の認定について	平成30年 10月17日	認定
認定第2号	平成29年度南島原市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	平成30年 10月17日	認定
認定第3号	平成29年度南島原市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	平成30年 10月17日	認定
認定第4号	平成29年度南島原市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	平成30年 10月17日	認定
認定第5号	平成29年度南島原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	平成30年 10月17日	認定
認定第6号	平成29年度南島原市水道事業会計決算の認定について	平成30年 10月17日	認定
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	平成30年 10月17日	答申(適任)
諮問第4号	人権擁護委員候補者の推薦について	平成30年 10月17日	答申(適任)
議案第45号	平成30年度南島原市一般会計補正予算(第3号)	平成30年 10月17日	原案決可
同意第27号	監査委員の選任について	平成30年 10月17日	同意
同意第28号	監査委員の選任について	平成30年 10月17日	同意
	閉会中における各委員会の継続調査申出について	平成30年 10月17日	決定

議席番号	議案番号	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
			中村 哲康	近藤 一字	田中 次廣	金子憲太郎	小林 知誠	柴田 恭成	高木 和恵	吉田幸一郎	隈部 和久	松永 忠次	小嶋 光明	黒岩 英雄	中村 一三	中村 久幸	下田 利春	川田 典秀	吉岡 巖	井上 末喜
	認定第1号	認定	○	×	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第2号	認定	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第5号	認定	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

賛否討論

採決が分かれた議案のうち
主な意見を紹介します。

〔認定第1号〕平成29年度南島原市一般会計歳入歳出決算の認定について

《反対討論①》

反対する理由は2つ。

1. 国保会計への応援が不十分である。国保税の重い負担に市民は大きな悲鳴を上げている。一般会計からの繰入を増額し、国保税を引き下げるべき。
2. 大型事業推進の立場に立っている。長崎新幹線事業費には、これまで約5千億円が使われている。その他、フリーゲージトレイン開発に469億円が使われてきたが、失敗に終わっている。国が進めようとしているフル規格になれば、さらに5千億円の事業費が見込まれ負担も大幅に増える。30分程度の時間短縮に1兆円の税金の導入は必要ない。長崎県民のために、今の長崎本線の改善に税金を投入すべき。

《反対討論②》

今納税組合は自治会に1つという規則になっており、納税組合長は自治会長よりも多い状態になっている。有家庭を除き、ほとんどが納税組合長と自治会長を兼務されている。未納者に対して、なぜ市役所からではなく、自治会長から催促されなければならぬのだと理解に苦しんでおられる状況を聞く。

今本市では、納税組合長は、納税の納付書の交付をしており、納税組合長の報酬は1千万以上であるが、郵便局に頼んだ場合は、480万。31年は見直すような答えも聞いているので、この29年の決算に対しては、意見として納税組合の廃止を望む。節約の一端として、納税組合が必要かどうかぜひ検討していただきたいと思う。自治会長に協力をお願いされて、いろんな状況を聞かれて、納税者の気持ちに沿っていただきたい。公金を1円でも無駄にしないようお願いしたい。

〔認定第2号〕平成29年度南島原市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

《反対討論》

国保税の引き下げがなされなかったことである。市民の願いである国保税の引き下げの要望に応えていない。国保会計の赤字が増大し、破綻をしている最大の原因は、国が責任を果たさず、国庫負担割合を引き下げてきたこと。国庫負担率の引き下げなしに、国保会計の抜本的な解決策はない。対応が不十分であったと考える。

今75歳以上は、県の方

で保険料という形で年金から差し引かれている。その負担が軽くなるように、74歳までの人達はこの75歳を支えるために負担をしている。国保会計は医療費の増加が原因である。それを上げないよう工夫されていることは認める。一般会計からもう少し繰り入れをということについては、あと4年ぐらいして、団塊の世代が75歳になると県の決めた保険料に従わなければならない。一般会計から繰り入れることができないうようなことを聞いているので、今は一般会計から入れているだけで負担は軽くなっていると思う。病気になる方は、1〜3割の負担で治療ができて、委任払制度もあって喜ばれているので評価する。

〔認定第5号〕平成29年度南島原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

1. 75歳以上になると、受けられる医療が制限される別立て診療報酬になっている。
2. 保険料は、年金から強制的に天引きされ、医療費が増えると保険料は制限なしに引き上げられる仕組みになっている。
3. 高齢者であっても、保険料を払えない人からは、保険証を取り上げるという制度である。

このように、高齢者の医療を差別し、保険料を際限なく引き上げる現代版姥捨て山制度そのものであり、その決算認定であるので反対する。

《賛成討論》

後期高齢者の負担分を、74歳までの保険税で、私たちは支援している。本当に苦しい人は、生活保護に申請されれば、医療費は全くかからない。医療費を払うのは受益者負担であるので、それ相当の負担はやむを得ない。高いことは分かっているが、今は高齢化社会で、本当に苦しい人は保護の方に相談をお願いしたい。

総務大臣感謝状贈呈



川田典秀議員

に総務大臣から感謝状が贈呈されました。

議員として通算35年以上（町議会議員在職年数含む）在職し、地方自治の発展に顕著な功労があるとして、本市の川田典秀議員

監査委員



吉田幸一郎氏
(深江町)
【任期】
平成30年10月18日～
平成34年6月9日



宮崎 太氏
(南有馬町)
【任期】
平成30年10月18日～
平成34年10月17日

人権擁護委員



八木 正勝氏
(北有馬町)
【任期】
平成31年1月1日～
平成33年12月31日



陣川美囀子氏
(北有馬町)
【任期】
平成31年1月1日～
平成33年12月31日

茨城県日立市議会議員が南島原市を視察されました



研修の様子



土石流被災家屋保存公園

平成30年10月23日、茨城県日立市議会日立市政クラブの方々、行政視察を行うため、本市を訪れました。研修ではまず、南島原市議会下田総務委員長の歓迎の挨拶に引き続き、日立市議会日立市政クラブ飛田幹事長から挨拶がありました。次に、研修テーマである道の駅みずなし本陣ふかえの概要について、施設を整備した経緯、入込状況、特産物等の販売状況、他とは違う特化した取組、今後の課題などについて、みずなし本陣ふかえ支配人が説明を行いました。その後、みずなし本陣ふかえの施設及び土石流被災家屋保存公園を見学していただきました。

議会ミニミニ通信

編集後記

今年には豪雨、猛暑、地震、台風など相次ぎ、各地に大きな爪痕を残しました。自然の脅威を改めて感じさせられました。被害に遭われた方に心よりお見舞い申し上げます。本市では、大きな被害もなく収穫の秋を迎えることができました。しかし、いつ災害がどこで起こるか予測が難しい状況にあります。災害に備え防災意識の向上が必要になります。原城跡が世界遺産に登録され、多くの方が訪れております。大変喜ばしいことですが、今後は、いかに後世に引き継ぐか、登録を市の振興につなげていくかが課題ではないでしょうか。改選後2回目の議会だよりの発行になります。議会に対する皆様のご意見等お寄せ下さい。

議会広報編集特別委員 田中次廣

議会を傍聴しましょう!!
次回の定例会は12月4日開会の予定です。

南島原市議会は市民の皆様のお越しをお待ちしています。
詳しくは議会事務局へお尋ねください。
電話 0957・73・6611



【発行責任者】

議長 林田久富

- 委員長 隈部和久
- 副委員長 金子憲太郎
- 委員 中村哲康
- 委員 田中次廣
- 委員 松永忠次
- 委員 下田利春
- 委員 井上末喜

議会広報編集特別委員会



この南島原市議会だよりは環境にやさしい「再生紙」と「植物性大豆油インキ」を使用しています。

※議会だよりに、ご意見、ご感想がありましたら、議会事務局「議会だより」係までお願いします。
〒859-2202 南島原市有家町山川58番地 ☎0957-73-6611
メールアドレス:gikai@city.minamishimabara.lg.jp